

INFORMATION

ちひろの切手シート発売決定！



昔懐かしい思い出を題材とした特殊切手「季節のおもいで」シリーズ。第2弾のデザインにちひろの作品が採用されました。春をテーマに描かれたちひろの切手でお手紙に彩りを。全国の郵便局で好評販売中です。

名称：季節のおもいでシリーズ 第2集
発行日：2013年4月3日(水)
種類：80円郵便切手(1シート10枚組)
販売場所：全国の郵便局など(当館でも販売しています)
詳細のお問い合わせは、日本郵便総務部(報道担当)TEL.03-3504-9798まで。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
		⑨	⑩

シート構成：①桜の花びらを見つめる少女 ②はなぐるま ③桜の花びらと子どもたち ④わらびを持つ少女 ⑤花の精 ⑥水仙とつくしを見る子ども ⑦チューリップのなかの男の子 ⑧笛を吹く少年と本を読む少女 ⑨ままごと シート背景：バラと少女

ちひろの水彩技法ワークショップ vol.1 にじみのカードづくり

いわさきちひろの作品の特徴である“にじみ”の水彩技法を体験しながら、すてきなカードをつくりまします。できあがったカードは、ちひろの切手で、大切な人に送りまします。父の日のプレゼントカードにもぴったりです。

日時：6月10日(月) ①11:00～12:00 / ②14:00～15:00
会場：安曇野ちひろ美術館
料金：300円(材料費・切手代込み)※入館料別
対象：どなたでも参加可能です
定員：各回20名
申し込み：当日予約受付(各回先着順)



第2回安曇野まつかわ 「五月の風」音楽祭 街角コンサート

松川村すずの音ホールに隣接するリンリンパーク(雨天時：松川小学校体育館)で開催される音楽祭の一環として、参加グループによるコンサートが開かれます。



日時：5月26日(日) 10:30～
会場：安曇野ちひろ公園、美術館前庭
料金：無料
詳細のお問い合わせは、安曇野まつかわ「五月の風」音楽祭実行委員会TEL.0261-62-2481(すずの音ホール)まで。

おはなしの会

絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみいただけます。
日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30
会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋
料金：無料(入館料のみ) 対象：どなたでも参加可能です





ちひろの子ども歳時記

5月10日(金)～7月9日(火)



I-1,「あめ」 1960年頃

懐かしい記憶 —あのころの自分に出逢うとき—

美しい四季のある日本。古来より、日本人の暮らしに季節は深く結びつき、その美しさを日々の生活のなかに取り入れてきました。子どもたちもまた、季節の移ろいのなかで、新しい発見や驚きに満ちた毎日を過ごしています。いわさきちひろは、いきいきとした子どもたちの姿を、豊かな季節の感覚を持って描き出しました。絵のなかの子どもたちは、私たちの、だれしものが持つ子どものころの記憶を懐かしく呼びおこします。そして、それは、今の子どもたちにも伝えてゆきたいぬくもりでもあります。

本展では、絵本『おにたのぼうし』(ポプラ社)、『もしもしおでんわ』(童心社)や四季折々の子どもたちを描いた作品などを紹介します。



I-2,傘と子どもたち 1969年

.....
 展覧会名：ちひろの子ども歳時記

会期：2013年5月10日(金)～7月9日(火)

○開館時間＝9：00～17：00

○休館日＝第2・4水曜日

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

料金：大人800円／高校生以下無料

※団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き ※障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料 ※視覚障害のある方は無料 ※年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館



I-3,アイスクリームを持つ赤い帽子の少女 1968年

.....

展覧会の見どころ：ちひろの描く子どもたちの1年

新年、ひな祭り、入学式、七夕、夏休み、十五夜、クリスマスなど、子どもたちが楽しみにする行事を描いた作品を展示します。なかには、現代見ることが少なくなりつつある光景も。懐かしいあのころを思い出すひとときを過ごしてみませんか。

あの“おにた”に会える！

心やさしい鬼の子おにたと病気の母親を看病する少女の、切ない節分の夜のお話『おにたのぼうし』。小学生のころ、国語の教科書で読んだ方も多いのではないのでしょうか。(現在も小学校3年生の教科書(教育出版発行)で採用されています。)懐かしのおにたに、ぜひ会いにいらしてください。



I-4、『おにたのぼうし』(ポプラ社)より
1969年

.....

出展作品数：約70点

.....

主な出展作品：「あめ」1960年頃、傘と子どもたち 1969年、晴れ着を着たふたりの少女 1971年、アイスクリームを持つ赤い帽子の少女 1968年、こいのぼりと子どもたち 1968年、『おにたのぼうし』(ポプラ社)、『もしもしおでんわ』(童心社) ほか

.....

関連イベント：ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展覧会の見どころなどをお話しします。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金：無料(入館料のみ)

申込：参加自由

.....

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



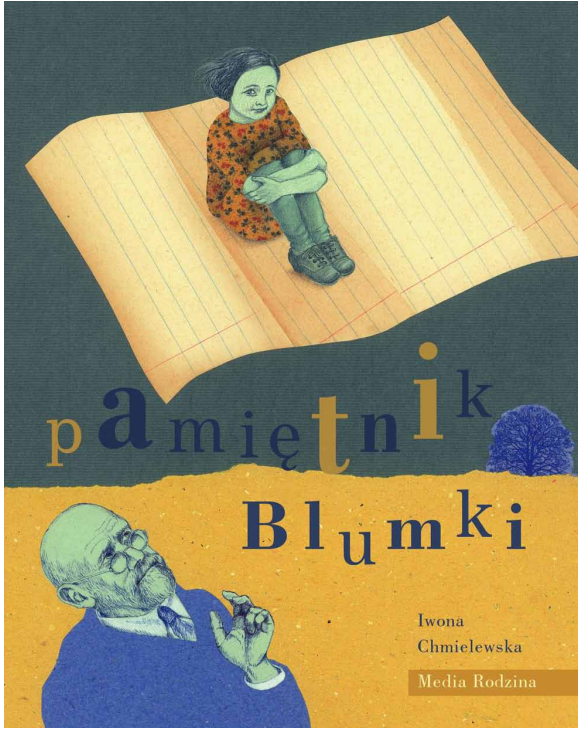
I-5、こいのぼりと子どもたち 1968年



I-6、晴れ着を着たふたりの少女 1971年



絵本『ブルムカの日記』原画展
—子どもを愛した コルチャック先生—
5月10日(金)～7月9日(火)



II-1, イヴォナ・フミェレフスカ
『ブルムカの日記』(ポーランド語版)表紙 2011年

原画日本初公開！

ポーランド女性絵本画家による、
子どもの視線から語られたコルチャック先生

ヤヌシュ・コルチャック(1878-1942)は、ポーランドの教育家、医師、児童文学作家であり、101年前、ワルシャワにユダヤ人孤児院を建てた人です。絵本『ブルムカの日記』(石風社)は、第二次世界大戦中、ドイツ占領下にあった同孤児院が舞台。主人公の女の子ブルムカの視点から、子どもたちを尊重し大切にしていたコルチャック先生の姿勢と考え方が、史実とフィクションを合わせて描かれています。

現在、世界6カ国で出版されている『ブルムカの日記』は、ちひろ美術館が願う「子どものしあわせと平和」について考えさせる一冊です。また、当館館長の黒柳徹子が、著書『窓ぎわのトットちゃん』(講談社)で、コルチャック国際文学賞の奨励賞を1985年に受賞していることは、不思議な縁ともいえます。

本展では、『ブルムカの日記』の原画22点と資料などを展示し、歴史的背景と、絵本ができるまでのプロセスを紹介します。

展覧会名：絵本『ブルムカの日記』原画展 —子どもを愛した コルチャック先生—

会期：2013年5月10日(金)～7月9日(火)

○開館時間=9:00～17:00 ○休館日=第2・4水曜日

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3

料金：大人800円／高校生以下無料

※団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き ※障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料 ※視覚障害のある方は無料 ※年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

後援：駐日ポーランド共和国大使館

協力： ポーランド広報文化センター インスタytut Polski Tokio ミュンヘン国際児童図書館、石風社



II-2, イヴォナ・フミェレフスカ
『ブルムカの日記』(石風社)より 2011年

展覧会の見どころ：ポーランド、スイス、ドイツを巡回した展示、日本初公開！

今回展示する原画は、2012年、ドイツ・ミュンヘンにある国際児童図書館の企画によって、同図書館を皮切りに、ポーランド、スイスなどで展示されました。初めての日本での展示では、作者が絵本制作に使った資料などを加え、絵本づくりの背景にもフォーカスします。

作者のイヴォナ・フミェレスカが展示にあわせて初来日！

本展にあわせ、絵本画家で、当絵本の作者であるイヴォナ・フミェレスカが初来日します。国内外で賞を受賞しているこの女性絵本画家は、今までにも韓国、フランス、スイスなどでワークショップや講演を行っており、当館ではギャラリートークとワークショップを行う予定です。ぜひその素顔にふれてください（詳細は下記参照）。

ノンフィクションとフィクションのはざま

この絵本に登場する子どもたちは、作家フミェレスカによって生み出された架空の人物ですが、絵本のなかのゴルチャック先生や、孤児院での出来事、彼の教えなどは事実です。作家がゴルチャックのすべての書物を読み込み、何が最も大切なことを考え抜き、生み出した渾身の一作です。

クイズ

ブルムカという名前には、花という意味も含まれています。では、絵本のなかでブルムカが水をやっている、絵本のテーマとも関連する花はどれでしょう？

1. ユリ
2. 忘れな草
3. スミレ

答えは、展示を見てのお楽しみ！

出展作品数：22点

画家プロフィール：



イヴォナ・フミェレスカ Iwona Chmielewska ポーランド 1960～

トルンのコペルニクス大学芸術学部でグラフィックを専攻。30冊以上の絵本の多くが、ドイツと韓国で出版されている。『考えるABC』で2007年ブラティスラヴァ世界絵本原画展「金のりんご賞」、『こころの家』（岩波書店）で2011年ポーラニャ国際絵本原画展「ラガッツィ賞」、『目』で2013年同賞を受賞。トルン在住。

関連イベント：作家によるワークショップ

『ブルムカの日記』の舞台である孤児院の子どもたちを想像し、どのように、よりよい、美しい世界をつくれるか、コラージュで作品を制作します。

日時：①5月18日（土）13：30～15：30

②5月19日（日）13：30～15：30

会場：安曇野ちひろ美術館 ミーティングルーム

講師：イヴォナ・フミェレスカ（ポーランド）

定員：20名

参加費：無料（入館料のみ）

申し込み：要事前予約（ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772、美術館受付にて受付中）



フランスでのワークショップ風景

作家によるギャラリートーク

作者が最も大事な作品という絵本『ブルムカの日記』に込めた想いを自ら語ります（通訳付）。

日時：①5月18日（土）11：00～12：00 / ②5月19日（日）11：00～12：00

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3

参加費：無料（入館料のみ）

申し込み：事前予約不要（参加自由）

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙／誌をご送付ください。



ちひろ美術館コレクション 絵本の作り方

5月10日(金)～7月9日(火)

ふだん何気なく読んでいた絵本……、
どんなひみつが隠されているのだろう



Ⅲ-1, 赤羽末吉 (日本)『ほしになつたりゅうのきば』(福音館書店)より 1975-76年



Ⅲ-2, 武田美穂 (日本)『となりのせきのますだくん』(ポプラ社)より 1991年



Ⅲ-3, エリック・カール (アメリカ)
『はらぺこあおむし』のイメージ 1985年

展覧会名：ちひろ美術館コレクション 絵本の作り方

会期：2013年5月10日(金)～7月9日(火)

○開館時間＝9:00～17:00

○休館日＝第2・4水曜日

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4

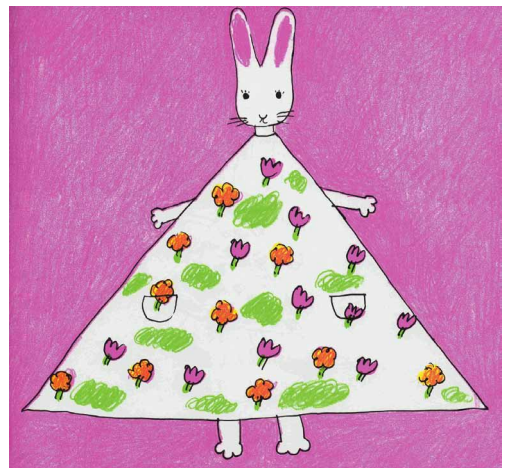
料金：大人800円／高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は

100円引き※障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料

※視覚障害のある方は無料※年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館



Ⅲ-4, 西巻茅子 (日本)
『わたしのワンピース』(こぐま社)より 1969年

展覧会のみどころ： 画家たちの絵本づくりのひみつが明らかに！

絵本制作に関わる資料を紹介し、それぞれの絵本画家の絵本づくりのひみつに迫ります。

代表的なコレクション作家の作品が一同に会します

ちひろ美術館は、すぐれた絵本の原画を未来に伝えるため、1980年代後半より作品を収集しています。現在、そのコレクション数は、33の国と地域、203名の画家による約17300点に及びます(2012年12月現在、いわさきちひろの作品を除く)。本展では、そのコレクションより、約20カ国、約40人の画家たちの作品約100点を紹介します。

出展作品数： 約100点

出展作家： 赤羽末吉(日本)『ほしになつたりゅうのきば』(福音館書店)より 1975-76年
 武田美穂(日本)『となりのせきのますだくん』(ポプラ社)より 1991年
 西巻茅子(日本)『わたしのワンピース』(こぐま社)より 1969年
 エリック・カール(アメリカ)『はらぺこあおむし』のイメージ 1985年
 エフゲーニー・ラチョフ(ロシア)『てぶくろ』(福音館書店)より 1950年 ほか

関連イベント： ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展覧会の見どころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金：無料(入館料のみ)

申込：参加自由

図版について： 本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



III-5



III-6



III-7

III-5, ユゼフ・ヴィルコン(ポーランド)
『すきすきだいすき』(セーラー出版)より 1991年

III-6, エフゲーニー・ラチョフ(ロシア)
『てぶくろ』(福音館書店)より 1950年

III-7, クラウス・エンツィカート(ドイツ)
『4人の子ども、世界をまわる』より 1990-92年